

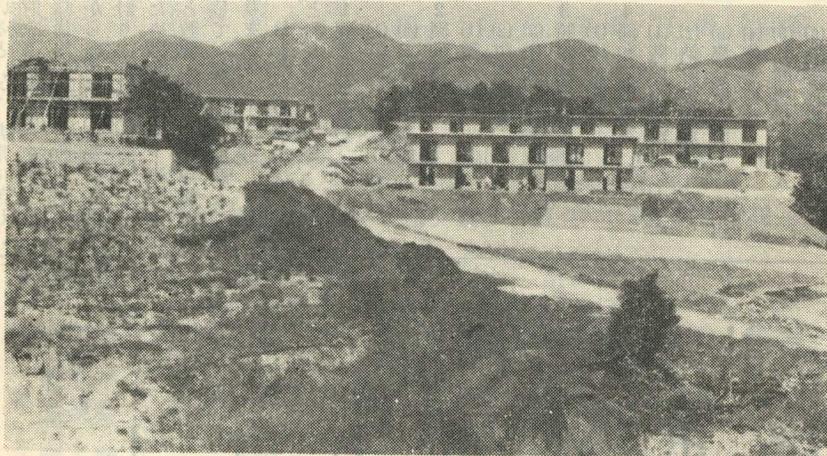
方城町の人口  
(4月1日現在)

人口	7,717人
男	3,718人
女	3,999人
世帯数	2,063戸

# ほうじょう町報



発行所  
福岡県田川郡方城町  
印刷所  
佐々木印刷所



完成まつ大黒住宅 (大黒炭鉱跡)

## 大黒住宅地区改良

### いよいよ完成

昨年十二月から工事にかかっていた住宅地区改良事業がいよいよ完成することになりました。  
新しい住宅は、簡易耐火建築二階建四連戸を二棟、六連戸を七棟、総工事費九一、一二四万円を費やして大黒地区の高台にそびえ町の公共事業としては、はじめてであります、新しい時代にそつた明るい住みよい町になることでしょう。

## 5月のこよみ

(さつき)

- 1日 統一メーデー
- 2日 郵便貯金創業記念日
- 3日 憲法記念日
- 5日 こどもの日
- 7日 健康の日 毎月七日
- 10日 愛鳥週間
- 14日 母の日
- 15日 農薬危害防止運動
- 18日 国際親善デー
- 21日 日本ガールスカウト記念日
- 30日 児童福祉法公布記念日

## あすへの教育目標

### 伊方小学校の現況

炭鉱の盛んなころの伊方小学校は児童数も学級数もたいへん多く、郡内でも大きい学校でしたが、現在は児童数四六〇人学級数一五という、こじんまりとした学校になりました。  
職員は教師二四人他二人計二十六人です。炭鉱閉山後、筑豊地区の学校は、産炭地の学校ということで、何もかも悪いことづくめのようになり、伊方小学校も同様にいろいろと教育上困難な問題をかかえてきました。しかし現在は、発展する方城町のいぶきの中で児童も職員も希望をもって毎日を過ごし、新しい伊方小学校をめざして努力しています。現在の教育方向をひと口に要約すると、創立以来百年になる輝かしい伝統を引きつぎ、新しく生れかわ

るうとしていく方城町の発展の歩みとともに学校教育をすすめているといえます。具体的な教育目標は、たくさんありますが、特に次のことを重要なこととして児童の指導に当たっています。「自分から進んで学習し、すぐれた学力を身につけ、強い身体と清らかでやさしい心を持ち、人を尊敬し勤労を尊ぶ」。このため教師は「児童ひとりひとりがいきいきと活動する」よう毎日の教育に当たっています。児童の学習の状況は、体育では、昨年体育館ができて、成績は向上しています。が体力はまだ足りません。図工、音楽は過去の伝統が残っていてよい素質もついています。他の教科も次第に向上していますがまだまだ努力しなくてはならない

と、発展する方城町に住んでいふことを喜びとしていくよう本年度をすごしたいと思います。

伝統ある伊方小学校を愛し、発展する方城町に住んでいふことを喜びとしていくよう本年度をすごしたいと思います。

## 行楽期の交通安全防止

- ① 行楽期に多い過労居眠り運転、飲酒運転、速度の出しすぎ、無理な追越しをなくし、安全な運転を励行して事故を防止するため、次の呼びかけを行う。
  - ◎ 運転者に対して
    - 酒を飲んだら絶対に車を運転しない、また運転するときは絶対酒を飲まない。
  - ◎ ドライブに出る前に
    - は、車の点検を徹底して行い、自分の健康状態にあわせてゆとのある計画をたてる。
  - ◎ 行楽地では、子どもや老人のとび出しに注意する。
    - 無免許運転が非常に多く親子で交通事故防止につとめる。
  - ◎ 歩行者に対して
    - 子どもや老人を同伴しているときは、目はなさない。
    - 車のかけから横断したり、道路へのとび出しは絶対にしない。
    - 横断するときは、必ず手をあげ、左右を確かめ車が止まってから横断する。

2, 歳出

(単位千円)

区分 目的別	本年度 予算額	構 成 比	本年度予算額の財源内訳及び充当率						一般財源 充当率	充当率
			特 定 財 源		一般財源		充当率			
			国 県	充 当 率	地 方 債	充 当 率	そ の 他	充 当 率		
1 議会費	16,352	1.6		%		%		%	16,352	100
2 総務費	225,341	21.9	85,895	38.1	34,500	15.3	3,640	1.6	101,306	45.0
3 民生費	301,809	29.4	156,255	51.8	99,100	32.8	5,436	1.8	41,018	13.6
4 衛生費	16,418	1.6	548	3.3			879	5.4	14,991	91.3
5 労働費	116,593	11.3	66,896	57.4	20,500	17.6			29,197	25.0
6 農林水産業費	43,195	4.2	7,276	16.8	3,600	8.3	1,200	2.8	31,119	72.1
7 商工費	730								730	100
8 土木費	72,539	7.1	11,668	16.1	32,600	44.9	2,850	3.9	25,421	35.1
9 消防費	15,655	1.5	1,400	9.0	600	3.8			13,655	87.2
10 教育費	130,441	12.7	17,177	13.2	53,500	41.0	521	0.4	59,243	45.4
11 災害復旧費	27,679	2.7	1,600	5.8			24,424	88.2	1,655	6.0
12 公債費	60,176	5.9							60,176	100
13 諸支出金	1								1	
14 予備費	1,000	0.1							1,000	100
歳出合計	1,027,929	100	348,715	33.9	244,400	23.8	38,950	3.8	395,864	38.5

五、元了解放令  
明治以来今日まで部落の解放にあって、三つの大きなできごとがありました。一つは明治四年八月二十八日の解放令二つは大正十一年三月三日京都岡崎公会堂における水平社の旗上げ、三つは昭和四十年八月十一日の同和対策審議会の答申が出されたことです。解放令は大政官布告第六十一号で「えた、非人の称を廢せられ候条自今身分職業とも平民同様たるべきこと」というのである。しかしこれは名目だけの解放にすぎませんで、資本主義社会に投げ出されたこれらの人びとは、実質的な自由をかくとくすることができずしかも徳川以来の封建的ないわれのない差別も依然として続きました。今まで部落なるが故に保護されてきた特権もなくなり、資本攻勢の前に皮革産業などもほとんど部落から姿を消し部落の人びとは一層貧しくなっています。

日本の資本主義が八十年もたちおくれながら小さな島国で資源に乏しい中で驚くような発展をなしとげました豊かな資源を持つ諸外

部落の歴史

国との競争に勝つためにはどうしても単価を安くしてゆくほかにありませんでした。そのためには賃金を安くしなければなりません。そこで「女工哀史」のようなひどい人間性無視の労働が強制されたわけですが、その場合日本農村の貧しさが大きな働きをしたことは見のがす訳にはいきません。農家の二男、三男や娘が安い賃金で働かされたのでした。また同時に六千部落、三百万という部落の人が低賃金に一層拍車をかけました。日本の繁栄はこうした人びとの犠牲の上に築かれたのでした。その証拠に政府は解放令以来今日まで部落に対してほとんど積極的な解放の手を打ってこなかったことがあげられます。

六、水平社結成以後  
大正十一年三月三日差別に耐えかねた部落の人びとは全国から京都岡崎公会堂に集まり、水平社を結成しました。これは明治の解放令が政府から与えられた空手形であるのに対して人間としての権利に目覚め解放のため

(四ページへ)

ことしの町の予算

10億2792,9万円

〔住みよい町づくりを重点施策に〕

昭和四十七年度の予算が三月十一日から三月二十三日まで開かれた定例議会で審議可決されました。本年度の一般会計歳入歳出予算の総額は、それぞれ十億二千七百九拾二万九千円です。

◎歳入では、地方交付税や国県補助金がおもな財源で、自主財源(町税等)に乏しく国等の起債に頼って

いるという、非常に苦しい財政事情であります。◎歳出では、財政窮乏の中から経常的な経費の節減を計り、住みよい町づくりのための基盤整備、町民福祉と教育の充実を重点施策として、積極的に取り組んでおられます。おもな投資事業は、次のとおりです

1 開発就労事業  
(1) 町民センター造成  
(2) 工業団地造成

2 緊就事業  
(1) 道路改良  
(2) 町道新設  
(3) 住宅団地造成

3 特定開発就労事業  
(1) 土地造成  
(2) 同和対策事業  
(3) 隣保館建設  
(4) 納骨堂建設  
(5) 集会所建設  
(6) 住宅建設  
(7) 共同農機具購入  
(8) 農業基盤整備

(7) 農道、水路、橋梁、下水道等整備  
(8) ハウス施設園芸

5 過疎対策事業  
(1) 中央公民館建設  
(2) 保育所建設  
(3) 見六長浦線道路改良  
(4) 防火水溝、小型ポンプ

6 林道開設事業  
(1) 弁城岩屋林道開設事業  
(2) 公営住宅建設事業  
(3) 町営住宅建設

一般会計歳入

歳出のあらまし

(補給黒大) 宇田黒大でま知宗

1, 歳入

(単位千円)

歳入項目	金額	構成比	摘要
町 税	34,710	3.4	%
地方譲与税	1,000	0.1	自動車重量譲与税
自動車取得税交付税	5,000	0.5	
地方交付税	245,000	23.8	
分担金及び負担金	25,224	2.5	鉱害復旧負担、森林開発公園造林負担
使用料及び手数料	9,460	0.9	
国庫支出金	261,107	25.4	
県 支 出 金	87,608	8.5	
そ の 他	114,420	11.1	諸収入、財産売払収入等
町 債	244,400	23.8	起 債
歳 入 合 計	1,027,929	100.0	

(三ページより)  
に行動を起して団結したという性格を持っています。そのときにだまされた解放宣言こそ日本初の人権宣言といつてよいでしょう。

—前略—  
「われわれは必ずし屈なる言葉と怯懦なる行為によって祖先をはずかしめ、人間ぼうどくしてはならぬ、そして人の世の冷たさがどんなに冷たいか、人間をいたわることが、何であるかよく知っているわれわれは心から人生の熱と光を願求礼讃するものである。「水平社はかくして生れた人の世に熱あれ人間に光あれ」この水平社の結成は部落の人びとに、人間に光あれ。この水平社の結成は部落の人びとに人権の尊さを自覚させたとともに、国民の間にはじめての部落差別の罪深さを認識させるきっかけとなりました。

七、同対審行政責任としてその後大正の末から昭和にかけて多少の変遷を辿りながら戦後いち早く昭和二十一年指導者の松本治一郎氏は京都で部落解放委員会を結成しました。さらに昭和三十年部落解放同盟と発展しました。同盟の解放運動は遂に同和対策審議会を発足させるまでになりました。その結果昭和四十年八月十一日審議会は政府に対して

部落を解放するための施策を答申しました。これがいわゆる「同対申」です。これは部落解放同盟が差別は生活の実態であり、その保障は当然政治がなすべきであるとして、行政責任の明確化を要求してきたことに對する答申がそれでありました。これによって部落解放の政治責任が明確になり、続いて昭和四十四年七月特別措置法が制定されたのであります。この同対申にはいろいろな評価があります。これが全部実現されたら完全に部落が解放されるという幻覚をもつことは特にいましめなければなりません。「明治百年」にしてようやく明らかにされた「行政責任」の明確化は部落解放にとつて何といつても画期的なことであるが、新しい局面を迎えたといえるでしょう。以上で「部落の歴史」の概要をのべ終りましたが、一般に「貧よりつらいものはない」と口ではいえても自分自身がどん底生活の体験者あつて始めて理解し同情ができるものであります。こと差別の問題はそんな生やさしいものでないだけに一度や二度部落の歴史を読んだくらいで真の理解者になれるとは限らないが同じ日本人どうし「同和」の意義が示す「同胞一和」の日の一日も早く実現すること全員で努力しなければなりません。(完)

### 「勤労青年のつどい」を終えて

実行委員長 伊藤 洋史

三月二十五日、二十六日の一泊二日の日程で方城町青年団文化部ワークキャンプ実行委員会の主催、方城町教育委員会の後援によって、つどいが催された。講師には県立英彦山青年の家原田修次先生に依頼した。参加者は男女とも、半々で合計二十六名であつた。

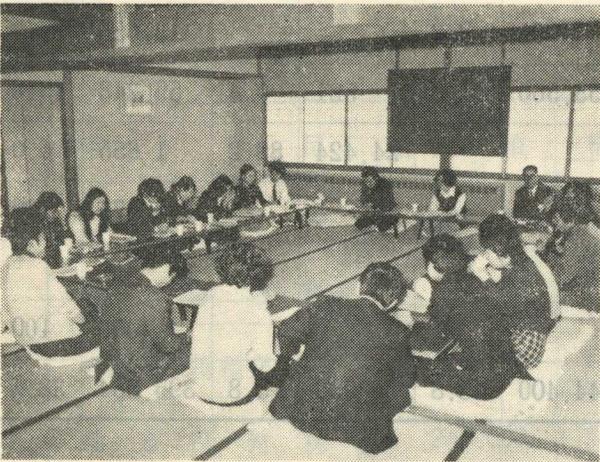
夜、七時十五分に国民宿舎ひこさんに到着しぎつしりつまつたスケジュールに参加者全員が快くこなしてくれた。それだけでも充分に成果があつたと思う。町の公民館長山崎氏も参加していただいた。討論会も思い思いの気軽な発言で盛り上つたし、ゲームは知恵の輪に人気があつた。

### 滞納の根絶と納期内完納に協力を

納税者のみなさまにお願い。めには滞納のない明るい税務行政を築くことが大きな課題であり現在の民主的な納税制度も納税者の真の理解と共感が得られなければその実を上げられません。

総理府の青年の船で巡遊された時の写真やエピソード(伊藤) 県の青年の船の映画(渡辺) フォークダンス、中宮までの登山、ラジオ体操もとてもたのしく有意義なものであつた。日程は次のとおりであつた

- 三月二十五日
- 午後六・〇〇 役場出発
- 七・〇〇 八・三〇 入浴
- 八・四〇 八・五〇 夕飯
- 夕飯のつどい
- 山崎公民館長挨拶
- 八・五〇 九・三〇



- 午後九・三〇 一〇・三〇 「青年の船」映画
- 一〇・三〇 消灯
- 三月二十六日
- 午前七・〇〇 七・三〇 起床
- 洗面
- 七・三〇 七・四五 ラジオ体操
- 七・四五 九・〇〇 朝食つどい準備
- 九・〇〇 一〇・三〇 ミーティング
- 一〇・三〇 一二・〇〇 レクレーション
- (フォークダンス、ゲーム)
- 午後一二・〇〇 一二・四五 昼食
- 一・〇〇 二・三〇 英彦山中宮まで登山
- 三・〇〇 三・三〇 県立英彦山青年の家見学
- 三・三〇 四・三〇 英彦山出発
- 四・三〇 役場にて解散

当町では今日相当の税金滞りができのまま放任でできない状態になりましたので止むを得ず強力に督促差押処分等を進め滞納の根絶と納期内完納の秩序確立を期すことといたしましたので納税者各位のご協力をお願いします。

### 香典返し

のお礼

故 白石藤三郎殿の逝去により白石才藏氏から方城町社会福祉協議会に寄贈していただきました。故 平中才治殿の逝去により平中一秋氏から方城町学校教育関係に寄贈していただきました。

### 火元戸じまりに

注意

行楽のシーズンとなりましかけるときは、ガス、電気器具の元栓を必ず切らずに切り、戸じまりに十分気をつけましょう。